

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2012-120166(P2012-120166A)

【公開日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-255789(P2011-255789)

【国際特許分類】

H 04 N 5/222 (2006.01)

G 03 B 17/56 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/222 B

G 03 B 17/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月4日(2014.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モーションセンシティブ画像取込装置(12)を安定的に支持するためのウエイト付き取付装置であって、

基台(150)と、ハンドル接続部(156)で前記基台(150)に接続されたハンドルとを有する手持ちの均衡構造体(132)と、

画像取込中に前記画像取込装置(12)を保持するための、前記基台(150)上の取付具(100)と、を備え、

前記取付具(100)は、キャビティ(138、238)を有するホルダー(116、216)、および、前記キャビティ(138、238)内に取り付けられたバラストウエイト(140、240)を備えるものにおいて、

前記ホルダー(116、216)は、前記画像取込装置(12)の周面を着脱可能に把持するための複数のアーム(124)を有し、

前記取付具は、前記均衡構造体(132)によって支持されるベース(118)を含み、

前記キャビティ(138、238)および前記バラストウエイト(140、240)が前記画像取込装置(12)の背面側に位置するように、前記ホルダー(116、216)は前記画像取込装置(12)をアッセンブリーとして保持し、

前記アッセンブリーおよび前記均衡構造体(132)の一体とした重心は、画像取込中に前記取付装置のバランスをとるために前記ハンドル接続部(156)の鉛直下方において前記ハンドル接続部に近接して位置することを特徴とするウエイト付き取付装置。

【請求項2】

前記取付具(100)は、前記バラストウエイトに覆い重なり、かつ前記ホルダー(116、216)に取り付けられるカバー(142)を含むことを特徴とする請求項1に記載のウエイト付き取付装置。

【請求項3】

前記ホルダー(116、216)は、単一の物理的モデルの前記画像取込装置(12)を保持するようにカスタマイズされていることを特徴とする請求項1または請求項2に記

載のウエイト付き取付装置。

【請求項 4】

前記アッセンブリーの重心は、前記取付具(100)の幾何学的中心からオフセットされていることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のウエイト付き取付装置。

【請求項 5】

前記取付具(100)は、異なるモデルの画像取込装置のうち第1のモデルを画像取込中に保持するための第1の取付具であり、

前記バラストウエイト(140、240)は、保持された前記第1のモデルを有する前記第1の取付具に第1のアッセンブリーとして取り付けられた第1のバラストウエイトであり、

前記第1のアッセンブリーは、第2のアッセンブリーと互換可能に前記均衡構造体上に支持され、

前記第2のアッセンブリーは、異なるモデルの画像取込装置のうち第2のモデルを画像取込中に保持するための、前記第1の取付具(100)と異なる第2の取付具と、

保持された前記第2のモデルを有する前記第2の取付具に取り付けられ、前記第1のバラストウエイト(140、240)と異なる第2のバラストウエイトとを備えることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のウエイト付き取付装置。